

林 務 課

平成 29 年 度

林 務 課

1 概 況

森林は、八ヶ岳・霧ヶ峰山麓と釜無山・入笠山山麓等に分布し、カラマツ、アカマツが主要樹種となっている。

管内の森林面積は、51,049ha、森林率 71.3%（県全体 78.1%）で、うち民有林は、41,884ha である。なお、主要樹種であるカラマツは、18,425ha で民有林立木地面積の 46%を占めている。

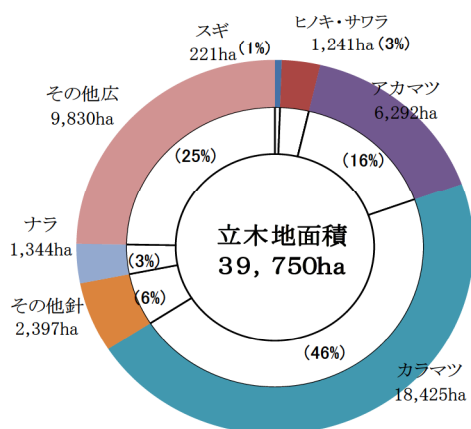
(1) 市町村別森林面積等

(平成 29 年 4 月 1 日現在)

市町村名	項目 総面積 ha	森林面積 ha	森林率 %	民 有 林	
				面積 ha	蓄積 千m ³
岡 谷 市	8,510	5,844	68.7	5,662	1,241
諏 訪 市	10,917	7,296	66.8	7,296	1,414
茅 野 市	26,659	20,113	75.5	15,143	2,682
下 諏 訪 町	6,687	5,647	84.5	4,016	797
富 士 見 町	14,476	10,176	70.3	7,794	1,662
原 村	4,326	1,973	45.6	1,974	346
計	71,575	51,049	71.3	41,884	8,142
県 全 体	1,356,160	1,058,571	78.1	684,780	133,167

(2) 樹種別森林面積（民有林）

(平成 29 年 4 月 1 日現在)



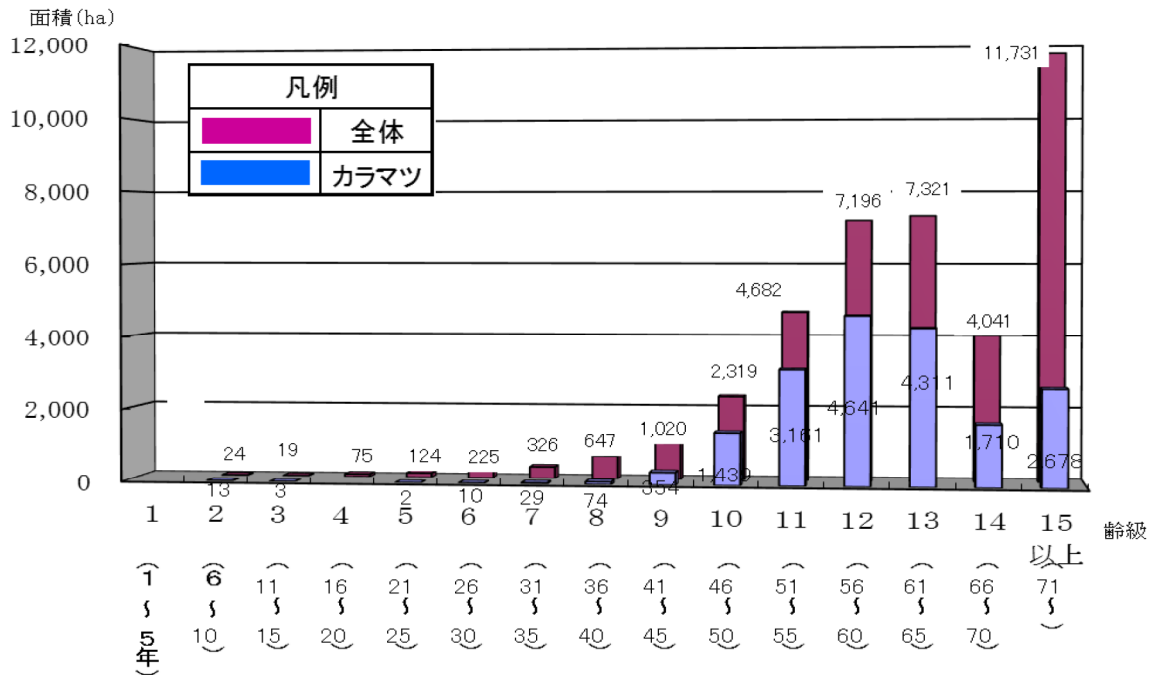
2 健全な森林づくり

管内の民有林は、戦後植林された人工林が間伐の必要な時期を迎えており、「長野県森林づくりアクションプラン」により計画的に間伐等の森林整備を行ってきた。

平成 20 年度からは、「長野県森林づくり県民税」を活用した事業を加え、健全な森林づくりに集中的に取り組んでいる。

(1) 民有林の齢級別面積

(平成 29 年 4 月 1 日 現在)



(2) 間伐実績と目標

(単位：h a)

区 分	5 か 年 の 間 伐 実 績						29 年度 日 標
	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	計	
管 内	1,012	1,025	952	824	804	4,617	700
県全体	21,194	21,821	16,761	15,221	13,634	88,631	

(3) 林業労働力

林業従事者数は109人で、森林組合及び素材・造林業（会社）・個人林業営業者・NPO法人が全体の80%を占めている。(単位：者、人)

区 分	森林組合	素材・造林業(会社)	個人林業営業者	NPO法人	建設業(会社)	合 計
事業体数	1	8	2	1	4	16
比率	6%	50%	13%	6%	25%	100%
林業従事者数	17	47	8	15	22	109
比率	16%	43%	7%	14%	20%	100%

注) 平成28年度林業事業体調査による。

3 森林づくりのための基盤整備

(1) 保安林の面積

(平成29年4月1日現在)

種別	水源かん養	土砂流出防備	その他	計
			(土崩・防風・水害・干害・保健)	
面積	5,400ha	4,126ha	69ha	9,595ha
比率	56.3%	43.0%	0.7%	100%
民有林面積		41,884ha	保安林率	22.9%

注) 長野県民有林の現況(平成29年度)による。

(2) 治山事業

保安林の機能を高度に発揮させるため、計画的な実施に努めている。(単位：円)

事業種別	平成28年度 実績		平成29年度 計画	
	箇所数	事業費	箇所数	事業費
復旧治山	3	147,960,000	(1) 2	(33,362,400) 37,867,000
予防治山	2	27,259,200	2	30,500,000
防災林造成	1	15,001,200	2	24,000,000
奥地保安林保全緊急対策	—	—	—	8,000,000
水源森林再生対策	(1) 3	(33,072,400) 83,808,000	3	82,000,000
保安林改良	—	—	—	—
保 育	—	—	1	3,000,000
災害関連緊急治山	1	70,653,600	(1)	(68,623,200)
県単治山	3	17,496,000	6	17,500,000
計	(1) 13	(33,072,400) 362,178,000	(2) 16	(101,985,600) 202,867,000

注1) 上段()書きは前年度からの繰越額で外数、箇所数は発注工区数(委託を除く)

注2) 平成29年度県単治山は、7月末時点の確定箇所・事業費

(3) 林道事業

林業経営の基盤である林道は、平成 46 年度末で林道密度 14.3m/ha を目標に整備を進めており、平成 28 年度末では 6.0m/ha、進捗率は約 41.9%となっている。

林道網整備長期計画（平成 7～46 年度）

全体計画 林内道路		内 訳 (計画)				平成 28 年度末林道現況		
		林内公道		林 道				
延長	密度	延長	密度	延長	密度	延長	密度	進捗率
m	m/ha	m	m/ha	m	m/ha	m	m/ha	%
899,000	21.6	301,568	7.2	597,432	14.3	250,239	6.0	41.9

(単位：円)

事業種別			平成 28 年度 実績		平成 29 年度 計画	
			箇所数	補助対象額	箇所数	補助対象額
補助	林道	舗装	1	29,592,000	—	—
	林業専用道	開設	1	36,288,000	(1)	(30,456,000)
計			2	65,880,000	(1)	(30,456,000)

注) 上段()書きは前年度からの繰越額で外数、箇所数は路線数(委託を除く)

4 野生鳥獣被害対策

特定鳥獣管理計画等にもとづき、捕獲及び捕獲個体処理対策、集落周辺の環境整備等を実施し、野生鳥獣による農林業被害の軽減を図っている。

(1) 野生鳥獣による被害額及び捕獲数（狩猟を含む） (単位：千円、頭・羽)

区分		年度					
		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
ニホン ジカ	被害額	61,032	64,343	64,860	58,882	52,884	43,572
	捕獲数	2,641	4,011	5,002	5,749	4,216	3,628
ニホン ザル	被害額	2,842	1,174	1,661	1,769	2,055	2,471
	捕獲数	87	164	141	107	111	50
カモ シカ	被害額	4,879	3,902	5,545	6,205	3,413	3,153
	捕獲数	2	2	0	2	6	8
イノ シシ	被害額	7,686	3,872	4,403	1,645	5,024	1,162
	捕獲数	183	169	141	172	88	139
その他 獣類	被害額	3,159	3,722	4,054	3,978	5,064	6,289
	捕獲数	118	191	242	284	375	367
鳥類	被害額	9,423	11,426	5,883	5,428	4,717	5,509
	捕獲数	552	626	340	578	552	617
合計被害額		89,021	88,439	86,405	77,907	73,157	62,156

(2) 野生鳥獣総合管理対策事業補助金 (単位：円)

事業種別	27年度		28年度	
	事業量	補助金額	事業量	補助金額
ツキノワグマ学習放獣	3頭	81,950	6頭	167,800
シカ等個体数調整・捕獲	935頭	2,332,300	339頭	841,750
新規銃猟者確保支援	2人	59,500		
鳥獣被害対策実施隊支援	5市町	815,550	6市町村	468,550
集落等捕獲隊活動支援	1市	250,000	1市	244,000
残渣処理支援	2箇所	342,900	2箇所	100,000
広域捕獲支援	4市町	1,237,200	4市町	1,013,000
捕獲檻(くくり罟)購入支援		—	135基	477,000
緩衝帯整備	2.62ha	388,800		
計		5,508,200		3,312,100

(3) 鳥獣被害防止総合対策交付金 (単位：円)

事業種別	27年度		28年度	
	事業量	補助金額	事業量	補助金額
有害捕獲活動費	2,118頭	13,256,000	2,114頭	13,270,000
捕獲個体の埋設等経費	1箇所	61,000		
信州産シカ肉認証処理施設	1箇所	2,500,000		
計		15,817,000		13,270,000

5 林業生産状況等

平成 27 年度の林業生産額は、622,686 千円で前年比 133.9%となった。

木材生産は、森林経営計画による計画的な生産や森林作業道等の基盤整備が着実に進んでいることから、今後においても安定的な生産量を確保できる見込みである。

まつたけは、平成 27 年度豊作であり増加したが気象の影響を受けるため生産量は不安定である。

(1) 林業生産額の推移

